



## 3日間で約4万人が来場！ 施設園芸・植物工場展2018が開催

### 施設園芸・植物工場展2018 (GPEC)

- 期日：7月11日(水)～13日(金)
- 場所：東京ビッグサイト 東1・2ホール
- 主催：一般社団法人 日本施設園芸協会
- 内容：栽培施設・資材・付帯設備・機器等の展示・実演

### 5回目の開催で過去最多230社以上の出展！

施設園芸・植物工場展2018(以下GPEC)が7月11日(水)～13日(金)の3日間で開催されました。GPECは、2年に1回開催される施設園芸と植物工場に特化した専門展示会です。第5回の開催となる今回は、過去最多となる230以上の企業・団体が出展しました。また、初開催となる「スマートアグリ・ソリューション2018」も同時開催され、スマート農業に関わる装置・サービス・関連技術の展示も行われました。

また、開催期間中は主催者や出展者による様々なセミナーやプレゼンテーションが開催され、大規模施設園芸や植物工場、統合環境制御等の取り組み事例の紹介が行われました。

### 施設園芸における様々な資材が展示！

各企業の展示ブースでは、すでに発売中の施設・資材から開発段階のものまで幅広く展示が行われていました。県内の企業では、カネコ種苗(株)が野菜や花きの品種展示を行うと共に、同社が開発した養液栽培システム「スプレーポニック」の展示が行われていました。また、被覆資材を扱うダイオ化成(株)からは、千葉大学・農研機構と共同開発した防虫ネット「虫バリア」などの展示が行われていました。この他にも、開発中の機材では、「ほうれん草刈台車(タキゲン製造(株))」や「切り花自走搬送台車(シンフォニアテクノロジー(株))」などが展示されていました。

GPECは2年に1回の開催ですが、このような専門展示会は、資材等に関する最新の知識をメーカーの担当者から直接学べる貴重な機会となっています。



カネコ種苗(株)のブース



植物工場設備の展示



切り花自走搬送台車



ほうれん草刈台車